

向け準備を進めたいと考えている。

Q3. 第三中学校生の第二中学校校舎への移動時期の前倒しの検討状況は？

A3. これまで開催した説明会で保護者の皆様から頂いたご意見やアンケート結果、館山市議会からの要望も踏まえて検討を重ねた結果、今後の教育環境の整備を見据えた中で、これまで示してきた通り、第二中学校への移転統合は令和3年4月とする方針を固めたところである。

所感

三中校舎の耐震不足が判明してから5年半以上が経過し、ようやく校舎の建て替え・二中と三中の統合方針が決まり、昨年の11月末には文書により、12月10日と13日には保護者説明会が開催され、決定した方針と方針決定の経緯について説明がされました。決定した方針は次の通りです。

- ・第三中学校生徒は令和3年4月に第二中学校に移転し、移転と同時に両行は統合することとする。
- ・令和2年度における第三中学校の新生、在校生ともに、第二中学校への入学、または、転校を希望する場合、無条件で可能とする。

昨年の台風15号等により三中校舎が被害を受け、議会として校舎の現状を視察したところ、被害の程度が酷かったため、早急に二中校舎に移動すべきと判断し、10月18日に教育委員会に対して早急に移動することを求める要望書を提出しました。また、11月に実施した保護者アンケートの結果においても、移動時期を早めてほしいという意見が回答の過半数を占めてい

ましたが、現2年生の来年度の受験への影響が懸念されことや、カリキュラムや部活動の調整などに多くの時間が必要であるとのことで、残念ながら令和3年4月より移転時期を早めることはできないとのことでした。

あと1年以上、現三中校舎を使用するのであれば、生徒・保護者が納得できる安全対策を講じる必要があります。また、前回の耐震判定から5年半以上が経過しており、再度、耐震診断を行うべきだと思います。

ようやく市の方針が決定し、生徒や職員の安全が確保される見通しになりましたが、台風被害への対応で予算とマンパワーが厳しい状況です。必要な安全対策に加え、これ以上スケジュールが先送りされないこと、保護者や児童生徒への必要な情報の提供、二中への転校・新入学希望者への柔軟な対応を引き続き要望して参ります。

